

# 夢と活気

2015 6/13

## 成長を感じた修学旅行

### 1日目

6月5日（金）から7日（日）まで九州長崎方面へ修学旅行に行きました。新大阪駅発車後は、新幹線の車中でクラスの仲間とゆっくりと話をしたり、お弁当を食べたりして楽しいひとときを過ごしました。

博多駅到着時は雨が降っていましたが、松浦市に到着した頃には雨は上がり、青空が見えてきました。1・2組は福島地区、3・4・5組は鷹島地区に分かれ、1つ目の「ほんなもん体験」を行いました。たこ漁、かご漁、刺網漁、船釣り、港釣り、磯の生物観察の班に分かれ、各班が海での体験を行いました。



新幹線の車中の様子

「ほんなもん体験」後、学年委員の司会のもと、お世話になる民泊先のご家族との対面式を行いました。最初は皆緊張した様子でしたが、福島と鷹島の皆さんの温かいお出迎えを受け、家族同様に過ごした一夜は、忘れがたい思い出となりました。第二



ほんなもん体験 港釣りの「ふるさと」ができました。



船釣り



かご漁



そば打ち

### 2日目

6日（土）も天候に恵まれ、それぞれの民泊先を後にして、2つ目の「ほんなもん体験」料理体験活動を行いました。よもぎもち、押し寿司、さつま揚げ、田舎料理、長崎ちゃんぽんなどを作ったり、魚のおろし方やそば打ちを教えてくださいました。他にも、定置網漁体験や鷹島元寇歴史探訪に出かけた班もあり、その土地ならではの貴重な体験をすることができました。



押し寿司

体験後の離村式では、民泊や「ほんなもん体験」でお世話になった方々にお別れのあいさつをしました。笑顔であいさつをしている人、泣きながら別れを惜んでいる人もあり、心温まる光景でした。



お別れの時の様子

ご家族との別れを惜しんだ後、ペーロン競漕を行う牧島へと移動しました。ペーロン競漕は、美化委員会が中心となってクラス対抗で3試合行い、その結果、1組が優勝しました。それぞれのクラスで一致団結して声を張り上げ、少しでも早くゴールしようと頑張っていました。



ペーロン競漕

熱い戦いの後、長崎ホテル清風へと移動しました。ホテル到着後、入館式を行いました。ホテルの方から「あまりに静かに入場されていたのでびっくりしました。」とおほめの言葉をいただきました。

夕食は豪華な「しっぽく料理」でした。入浴を済ませてから、学年レクリエーションを行いました。体育委員会が企画し、出発までにこっそりと練習を重ねてきました。クイズ大会・劇「シンデレラ」・ビンゴ大会などで大いに盛り上がりました。最後にサプライズ企画として、修学旅行中に誕生日を迎えた3組の園田さんにプレゼントが贈られ、全員でハッピーバースデーの歌を歌いました。心温る楽しい時間はあっという間に過ぎていきました。



劇「シンデレラ」

### 3 日 目

最終日は、爆心地公園で平和式典を行いました。黙祷の後、平和を願う思いを込めて、3組の菊池さんがメッセージを読み上げました。バスガイドさんの永井博士の話や「この子を残して」の一説が思い出されました。永井博士話はとても心に響き、戦争の悲惨さや平和の大切さを改めて確かめました。長崎の方々の思いをしっかりと受け継いでいこうと思いました。



平和式典の様子



折り鶴モニュメント奉納

菊池さんが平和式典で読み上げたメッセージを以下に紹介します。

1945年8月9日、ここ長崎に1発の原子爆弾が投下されました。一瞬の出来事で多くの方が亡くなり、また、現在も後遺症に苦しんでいる方もおられます。

大切な家族、友人、知り合いを一瞬で失ってしまうことの恐ろしさ。もし、自分がその場にいて、大切な人を目の前で失ってしまったらと考えると、胸が苦しく、張り裂けてしまいそうな思いになりました。しかし、ここ長崎では現実として起こった出来事です。

このような悲しい出来事が再び起きないようにしていくことが、今を生き、未来へと歩いていく私たちの役割ではないでしょうか。

私たちは今、平和な生活を送っています。しかし、多くの尊い命と幸せな生活を奪い去った原子爆弾や戦争の惨状を学び、心に深く刻み込むことによって、平和の大切さを将来にわたり考え続けていかなければなりません。

そして、世界平和を願う、熱い思いを受け継ぎ、平和の大切さを自分なりに発信できるように努力し続けていかなければなりません。

一人ひとりの力はとても小さいかもしれませんが、しかし、行動しなければ何も始まりません。私たちは平和な未来を築いていく誓いを立てるとともに、犠牲になった多くの方々が安らかに眠られるようにご冥福をお祈りいたします。

平成27年6月7日  
伊丹市立笹原中学校 3年生一同

式典後、長崎の街を巡る「長崎さるく」に出発しました。班ごとにコースを決め、長崎の街を散策しました。楽しそうな顔が長崎の街のあちこちで見られました。

どの班も定刻の時間より少し早めにゴールに到着しました。長崎での全活動を終え、一路福岡空港へ。参加者全員元気に帰校しました。



長崎さるく 出島



中華街



眼鏡橋



大浦天主堂

修学旅行では、いろいろな場面で実行委員（各クラスの正副委員長）をはじめ、各委員が活躍しました。あいさつやメッセージを述べる場面も多く、その場その場に応じて、心を込めて述べることができました。また、全行程で集合時間が守られたことも、どの場所でも静かに集合や待機ができたことも、3年生として、一人ひとりが今なすべきことを意識して行動できていたからだと思います。修学旅行が、たくさんの思い出とともに無事終了することができたことは、保護者の皆様をはじめ長崎でお世話になった多くの皆様のおかげと、心より感謝申し上げます。



福岡空港での解散式

修学旅行では、「さすが3年生」だと思える場面が多くありました。成長した姿がたくましくも思えました。部活動では、最後の夏の大会が間近に迫っています。高等学校のオープンハイスクールの案内もたくさん届くようになりました。一つひとつのステップを着実に上り、「卒業」というゴール、「合格」というゴールに向け、頑張ってくれるものと期待しています。今後とも、保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。